

## インフルエンザ週報 2019年 第49週 (12月2日～12月8日)

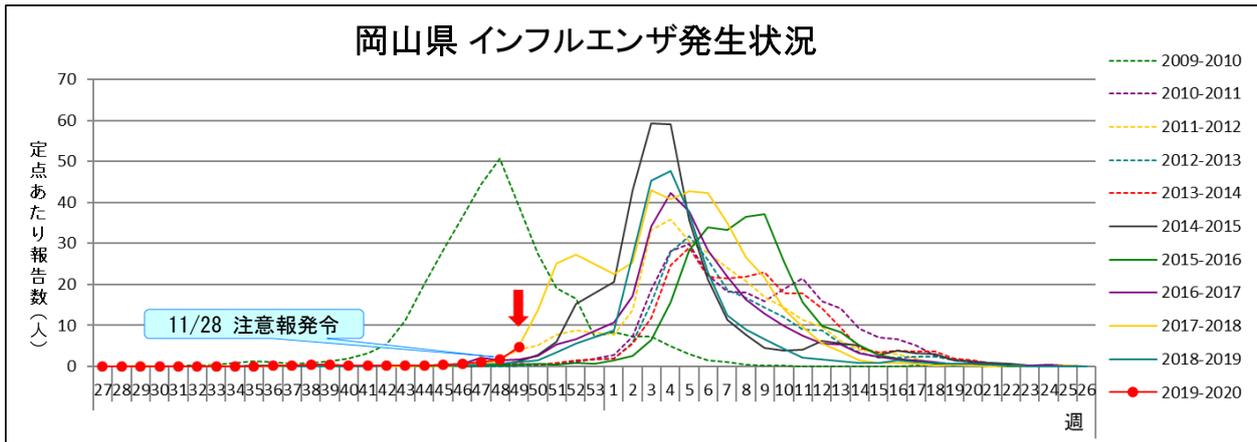
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で387名(定点あたり4.61人)の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が3施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者8名の報告がありました。

## 【第50週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が24施設でありました(12月9日～12日)。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で387名(定点あたり1.75→4.61人)の報告があり、前週から大きく増加しました。岡山県は、「**インフルエンザ注意報**」を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、岡山市(6.73人)、倉敷市(5.50人)、備中地域(5.42人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況に注意するとともに、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。また、予防接種は、早めに済ませましょう。

## ◆インフルエンザの流行シーズンです。感染予防に努めましょう◆

## 【 予 防 】

- ・ 帰宅後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みを避けましょう。
- ・ 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

## 【 かかったかな?という時には 】

- ・ 早めに医療機関を受診しましょう(受診時はマスクを着用してください)。
- ・ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないようにしましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように、『**咳エチケット**』を心がけましょう。

## 『咳エチケット』～咳やくしゃみをするときは～

1. 周囲の人からなるべく離れましょう。
2. 他の人から顔をそらせ、ティッシュや手で口と鼻を覆いましょう。
3. 口と鼻を覆った手は、すぐに石鹸で丁寧に洗いましょう。
4. 咳やくしゃみが出ている間は、マスクを着用しましょう。

- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。



1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	387	▲	備 中	患者数	65	▲
	定点あたり	4.61			定点あたり	5.42	
岡山市	患者数	148	▲	備 北	患者数	6	▲
	定点あたり	6.73			定点あたり	1.00	
倉敷市	患者数	88	▲	真 庭	患者数	6	▲
	定点あたり	5.50			定点あたり	2.00	
備 前	患者数	55	▲	美 作	患者数	19	▲
	定点あたり	3.67			定点あたり	1.90	

【記号の説明】前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ➡：ほぼ増減なし ▼：大幅な減少 ▼：減少  
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ

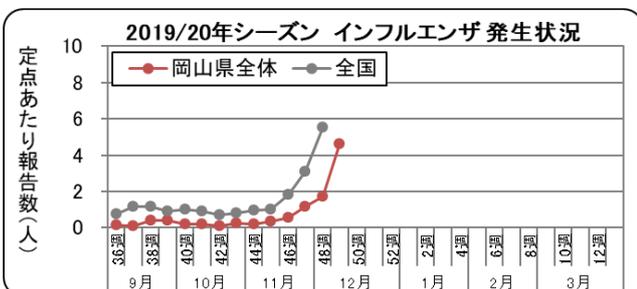
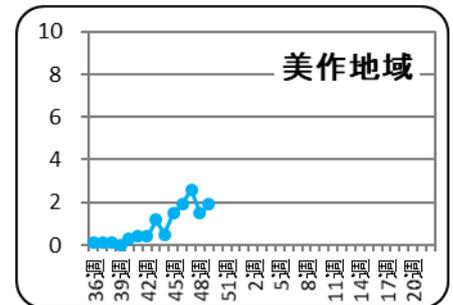
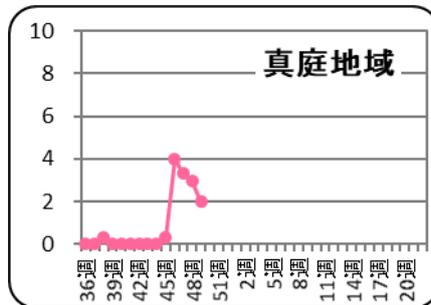
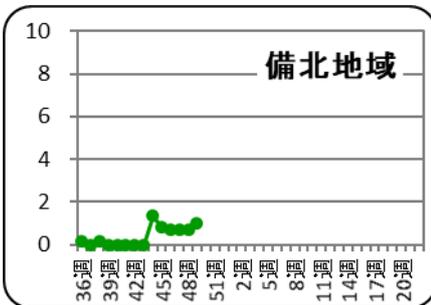
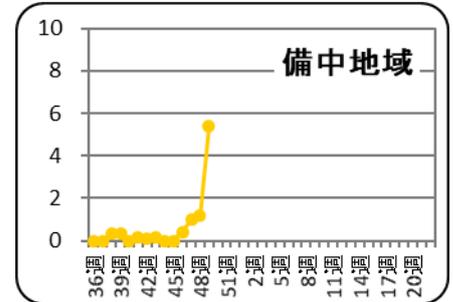
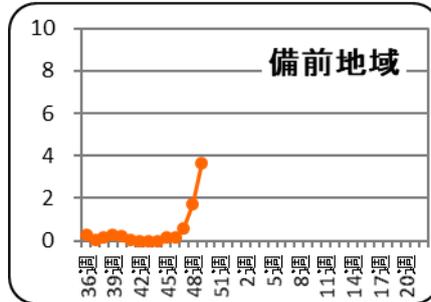
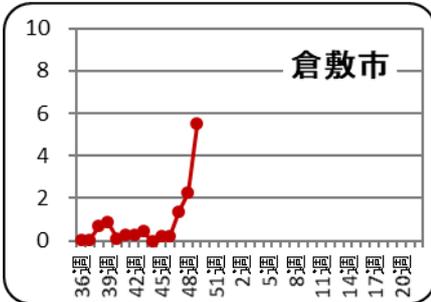
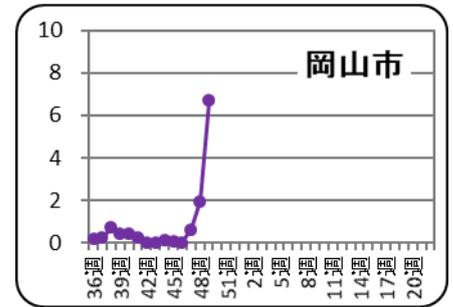


<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0 10未満	0

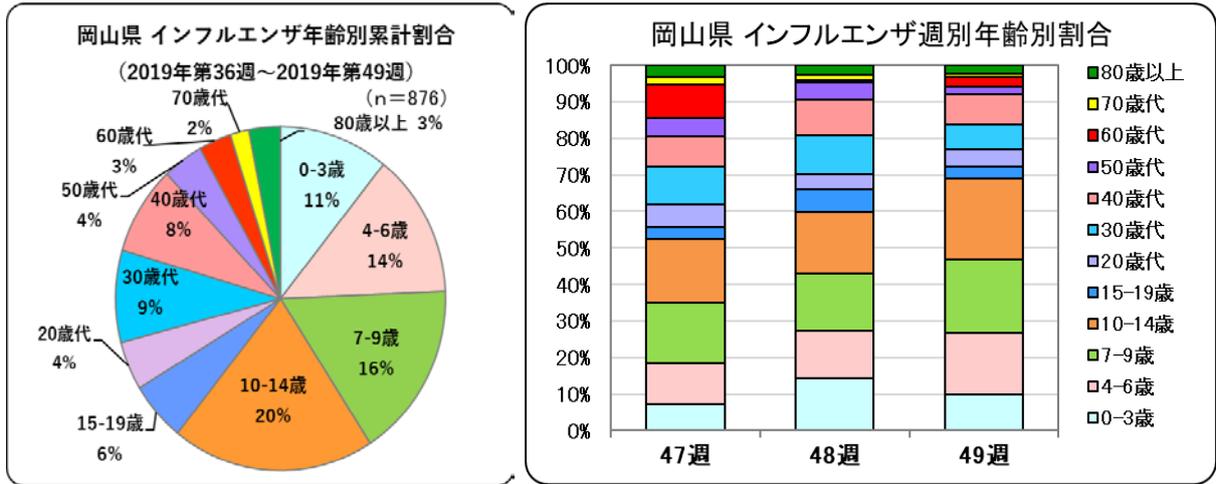


全国集計 2019 年第 48 週 (11/25～12/1) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 5.52 人となりました。都道府県別では、北海道 (16.76 人)、青森県 (15.48 人)、石川県 (10.52 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県で流行開始の目安 (定点あたり 1.00 人) を超えています。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

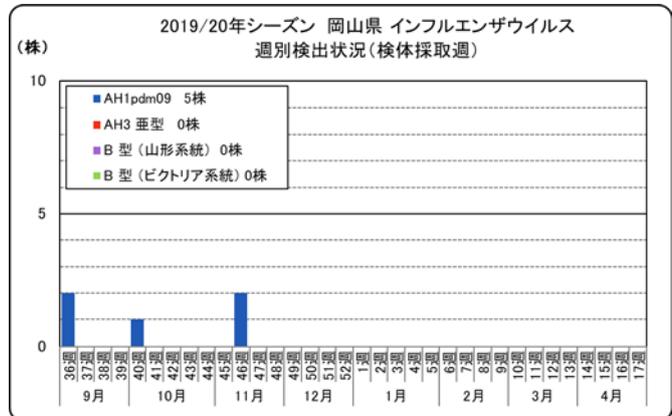
## 2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、以下のとおりとなっています。



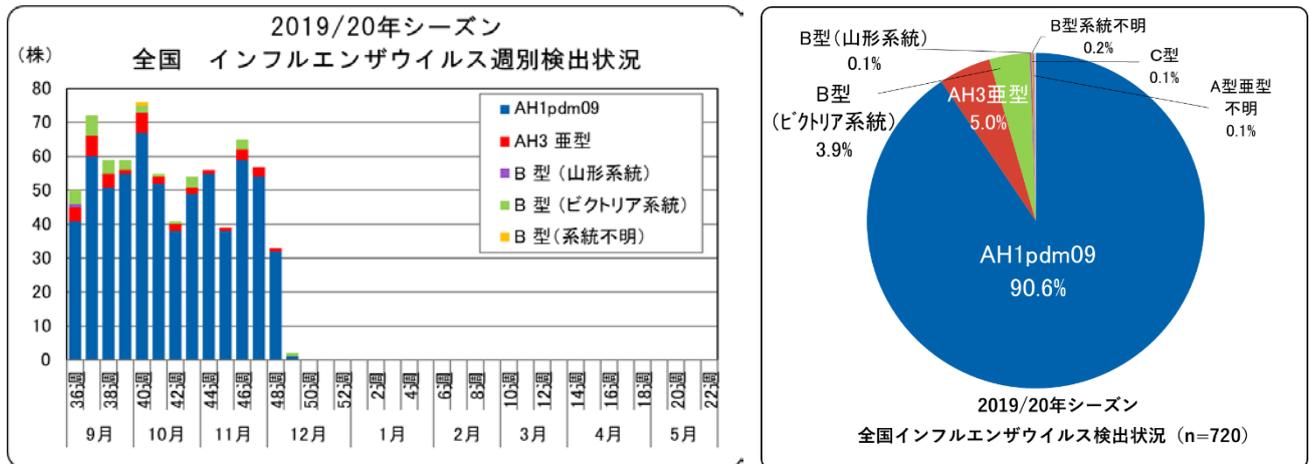
## 3. インフルエンザウイルス検出状況

2019年第49週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは5株で、全てAH1pdm09です。



今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が652株、AH3亜型が36株、B型が30株（ビクトリア系統28株・山形系統1株・系統不明1株）、C型1株、A型亜型不明1株となっています（12月11日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

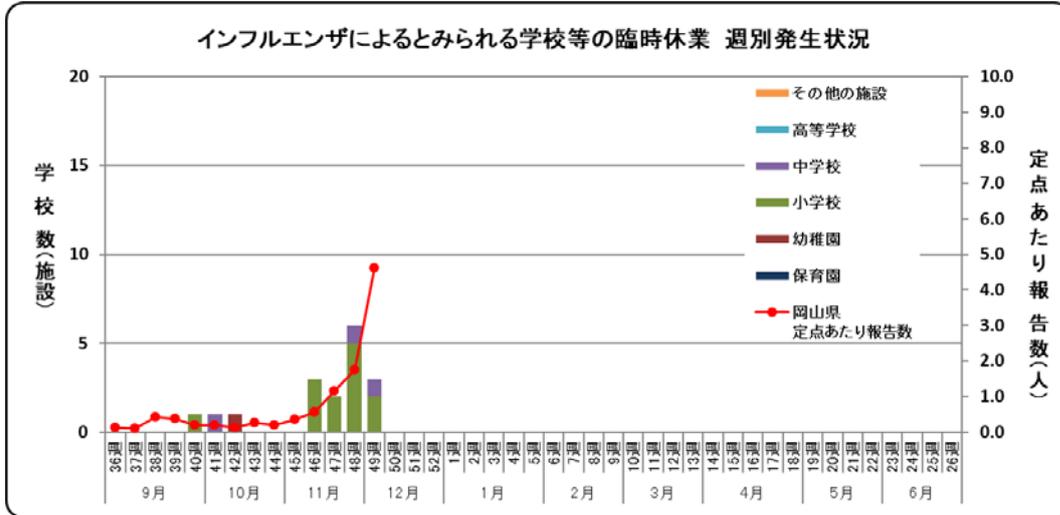


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、3施設でありました。

【第49週 臨時休業施設数】

▽岡山市 1   ▽浅口市 1   ▽鏡野町 1



1) 臨時休業施設数の内訳

第49週:3施設   累計:17施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	—	0	1	2	13	1	3	0	—	0	—

2) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

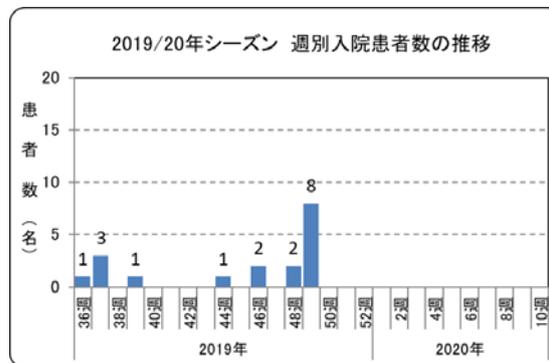
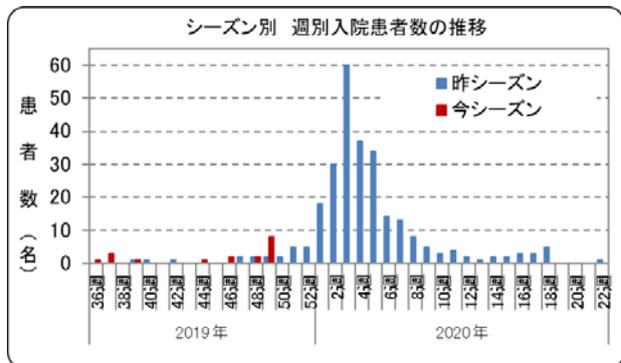
\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	98	286	45	187	3	17	0	0	2	9	1	8	R1. 9. 30
岡山市	29	56	28	54	1	3	0	—	0	1	1	2	R1. 9. 30
倉敷市	0	45	0	45	0	3	0	—	0	—	0	3	R1. 10. 15
備前地域	0	24	0	16	0	2	0	—	0	—	0	2	R1. 11. 21
備中地域	64	94	12	28	1	3	0	—	1	2	0	1	R1. 11. 11
備北地域	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	—
真庭地域	0	7	0	6	0	1	0	—	0	1	0	—	R1. 11. 13
美作地域	5	60	5	38	1	5	0	—	1	5	0	—	R1. 10. 8

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、8 名（1 歳未満 2 名、5～9 歳 1 名、20～29 歳 1 名、50～59 歳 1 名、70～79 歳 1 名、80 歳以上 2 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 49 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	2		1			1			1		1	2	8
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *	1												1
頭部 MRI 検査(予定含) *													
脳波検査(予定含) *													
いずれにも該当せず	1		1			1			1		1	2	7

\* 重複あり

【2019 年 9 月 2 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	2		2	1	1	1			2		3	6	18
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *											1	1	2
頭部 CT 検査(予定含) *	1				1						1		3
頭部 MRI 検査(予定含) *					1						1		2
脳波検査(予定含) *													
いずれにも該当せず	1		2	1		1			2		2	5	14

\* 重複あり

## ◆◆インフルエンザの予防接種はお早めに！◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が現れるまで、[2週間程度かかります。](#)

**定期予防接種の対象者**は、積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方も、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。
- 13歳以上の方は、1回接種を原則としています。

### 定期予防接種対象者

- \* 65歳以上の方
- \* 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫機能に障がいがあり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

◎定期予防接種については、接種できる期間が市町村によって異なりますので、お住まいの市町村担当課にお問い合わせください。

[インフルエンザQ&A（厚生労働省）](#)

[令和元年度 今冬のインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）](#)

[インフルエンザ 関連情報 2019/20 シーズン インフルエンザワクチン株（国立感染症研究所）](#)

